

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6年 2月 22日

多治見市議会 議長様



会派名 公明党

4番議員 氏名 工藤 将和

質問題名	多治見市におけるがん対策について
質問要旨	<p>がんは、日本で40年以上にわたり死因の第1位となっており、男性の3人に2人、女性の2人に1人が生涯のうちに罹るとされている。</p> <p>多治見市では、市民の命と健康を守る上でがんの早期発見と早期治療のため、職場などで検診を受ける機会のない市民を対象に6種のがん検診、年齢ごとの4種の無料がん検診を実施して頂いている。</p> <p>学校におけるがん教育は、子どもたちに「がんを正しく理解してもらおう」「健康と命の大切さについて主体的に考えてもらおう」という大きく二つの目的がある。中学の新たな学習指導要領に盛り込まれたことで、中学では2021年度から、小学校でも、児童の発達段階や学校の事情に応じて展開されている。</p> <p>多治見市におけるがん予防、がん検診、がん教育の視点で現状確認、検診の充実について提案をする。</p>
質問項目①	<p><検診></p> <p>令和6年度より無料の胃がん検診が無くなると聞いたがいかがか。</p>
質問項目②	<p><予防></p> <p>胃がんの原因であるピロリ菌検査を助成頂くか、選択できるオプションとして提案するがいかがか。</p>
質問項目③	<p><検診></p> <p>令和4年度（2022年）の多治見市のがん検診受診率はいかがか。</p>
質問項目④	<p>国で進めている職域検診について多治見市ではどの様にお考えか。</p>
質問項目⑤	<p>がん検診の充実を図るため、肝臓などの沈黙の臓器に対する超音波検診（エコー検診）を提案するがいかがか。（先ずは選択できるオプションでも良い）</p>
質問項目⑥	<p><教育></p> <p>多治見市の小、中学校におけるがん教育の実施方法と生徒の反応はいかがか。</p>

質問項目⑦	がん教育の充実を図るため、医師や経験者を講師として提案するがいか か。 -----
質問の相手方	市民健康部長、教育委員会

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6年 2月 21日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

6 番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	防災・減災について ～災害に強い多治見を創造する【能登半島地震から学ぶ万全な取組み編】～
質問要旨	令和6年元日に発生した「能登半島地震」のように、突如襲ってくる震災に備える重要性を再認識し、市民の生命や暮らしを守るため、災害マニュアル・BCPの見直しや改善を早急に実施するとともに、防災・減災に関する取組みの更なる充実・強化の推進が急務である。 いつ発生してもおかしくない地震災害に、改めて『公助の充実強化』と『自助・共助の意識の醸成』について多治見市の危機管理体制について問う。
質問項目①	<input checked="" type="checkbox"/> 公助の充実強化（災害発生を想定した万全の準備） <input type="checkbox"/> 能登半島地震から見てきた初動の重要性を踏まえ、最優先指示について
質問項目②	<input type="checkbox"/> 医療救護活動と自治体の関連整備について
質問項目③	<input type="checkbox"/> 建物の耐震状況及び耐震化促進事業について
質問項目④	<input checked="" type="checkbox"/> 自助・共助の意識の醸成（災害備蓄品・避難態勢の強化） <input type="checkbox"/> 個人備蓄品の促進とさらなる向上のための取組について
質問項目⑤	<input type="checkbox"/> 迅速かつ確実な避難のため、高齢者及び要支援者支援について
質問項目⑥	
質問の相手方	企画部、市民健康部、都市計画部

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

多治見市議会



令和 6年 2月 22日

会派名 新生自民

2番議員 氏名 亀井芳樹

質問題名	能登半島地震の対応について
質問要旨	<p>1月1日に発生しました能登半島地震において、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆さま方に対しお見舞いを申し上げます。</p> <p>震災地へは、本市から消防本部をはじめ、多くの職員が派遣されました。</p> <p>また、DMAT（災害派遣医療チーム）等で、本市の病院からも多くの医師、看護師、薬剤師の派遣がありました。</p> <p>市民の方でも、石川県災害ボランティアセンターに直接連絡し、個々で救助に駆け付けた方もいると聞いています。</p> <p>その中で、今回の地震への対応で何点か質問させていただきます。</p>
質問項目①	被災地派遣におけるスキームと、その周知方法は何でしょうか。
質問項目②	本市からの防災派遣や、本市の防災対策でブラッシュアップが必要な事はありますか。
質問項目③	多くの職員を派遣して下さった市民病院ですが、BCPの策定状況はいかがでしょうか。
質問項目④	石川県災害ボランティアセンターで募集されていますが、市民ボランティア希望の方が必要な段取りや手続きは何でしょうか。
質問の相手方	企画部長、消防長、市民健康部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6年 2月 22日

多治見市議会



会派名 オールたじみ

5 番議員 黒川 昭治

質問題名	多治見市災害時の指定避難場所について
質問要旨	<p>昨今の大規模災害にて、多くの被災者が避難所の利用を余儀なくされている。</p> <p>当市においては、13の小学校区ごとにある指定避難所・指定緊急避難^場所の配置について問うもの。</p>
質問項目①	<p>指定避難所・指定緊急避難^場所の指定条件の違いは何か？</p> <p>地震災害時で両方を兼ねた避難所は少ない。具体的な違いは何か？</p>
質問項目②	避難所の数は、何を基準としているか？
質問項目③	避難所の立地条件の基準は何か？
質問項目④	当市において、避難所での生活環境含め、これらは妥当と考えるか？
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	企画部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6年 2月 21日

多治見市議会



会派名 市民の会

18番議員 氏名 仙石 三喜男

質問題名	第8次総合計画策定後の多治見市民病院の今後の経営方針等について問う
質問要旨	<p>令和4年12月定例会の市政一般質問では、市民病院の課題と今後の対応について質問をしており、その後昨年12月定例会で第8次総合計画が議決され、本年1月19日の全員協議会の場においては新たに多治見市民病院経営強化プランの策定内容が市議会に説明があり、今後の市民病院の経営方針が示されたと認識しています。</p> <p>そこで、前回の質問（R4.12月定例会）の課題を踏まえ、改めて市民病院の今後の経営方針等について以下の質問をします。</p>
質問項目①	令和9年度までを対象期間とする「市民病院経営強化プラン」には、産科の開設（早期）の取組みの視点が無いのは何故か。
質問項目②	<p>令和元年から交付されている市民病院「運営支援補助金」1.7億円の目的は、今後10年・20年後を見据えた長期安定的な病院運営支援のためと認識しているが、今後の大規模施設改修等の計画はどのような予定か。</p> <p>また、以前検討された病院基金条例の創設の予定は如何か。</p>
質問項目③	市民病院の駐車場問題については、過去2回市政一般質問で取り上げた経過があるなか、昨年11月医療法人厚生会より第2駐車場拡張の要望が出されたが現状及び今後の対応は如何か。
質問項目④	<p>病院経営の更なる安定化を図るため、現状の250床の病床利用率を上げると共に今後増床の検討の余地はあるか。</p> <p>併せて、今後多治見市民病院の安定経営維持には、人口10万人程度の都市の維持が最適との指摘についてどう捉えるか。</p>
質問項目⑤	地域医療の連携強化及び在宅医療提供体制の推進について、市として具体的にどのような方針をもって進めていけるか。

<p>質問項目⑥</p>	<p>医師の働き方改革（時間外勤務時間の上限：960 時間/年）に伴う、市民病院の対応についてお伺いします。</p> <p>(1) 土曜日の午前外来診療の休止を含む見直しの有無</p> <p>(2) 電子カルテシステム導入等による、デジタル化への対応</p>
<p>質問項目⑦</p>	<p>公立病院の使命として実施する政策的医療のうち、救急医療の確保及び災害時医療についてお伺いします。</p> <p>(1) 救急医療の確保について</p> <p>① 救急出動件数が増加傾向のなか、市民病院の救急搬送数（人）の受け入れ態勢など現状はどのようなか。</p> <p>② 岐阜県は、昨年 10 月より「救急安心センターぎふ（# 7 1 1 9）」をスタートされたが、今後市民病院として期待される成果とこの半年間の実績は。</p> <p>③ 地域医療支援病院（多治見県病院等）によっては、今後救急搬送されてきた患者でも軽傷（入院不要）の場合は、保険外併用療養費（選定療養費）@7,700 を徴収するとの報道がありました。どのように受け止めておられますか。</p> <p>(2) 災害時医療について</p> <p>多治見市民病院は、大規模災害時は医療提供が可能な施設整備、医療提供・活動が求められる病院と認識したうえで伺います。</p> <p>① 改めて病院の耐震、浸水リスク、液状化リスクは大丈夫か。</p> <p>② 非常時の水、電気の確保及び医薬品、食料等の備蓄はどのようなか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>質問の相手方</p>	<p>市長 市民健康部長 企画部長 消防長</p>

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和6年2月22日

多治見市議会議員 様



会派名 自民クラブ
7 番議員 氏名 加藤 智章

質問題名	「かさはら福祉センター」の今後の在り方について
質問要旨	<p>「かさはら福祉センター」は、笠原町を中心に多治見市民へ向けた福祉サービスを約30年間にわたり提供してきました。</p> <p>特に要介護者向けの入浴サービスや囲碁・将棋・ビリヤード・カラオケ・会議室等の交流の場の提供など、地域に深く根差した活動が今なお高く評価されています。</p> <p>なお、令和7年度に社会福祉協議会の指定管理の更新をめぐり、一定の判断がなされる見込みです。</p> <p>同施設の今後の在り方について、多治見市民にとっての最適解を探るべくご質問します。</p>
質問項目①	「かさはら福祉センター」が果たしてきた役割を、本市としての評価をお聞かせ下さい。
質問項目②	「かさはら福祉センター」はどのような機能と捉えて見えますか？
質問項目③	その評価、認識を踏まえて、今後の「かさはら福祉センター」の方針をお聞かせください。
質問項目④	「かさはら福祉センター」今後の維持にあたり課題はどのようなことがありますか？
質問項目⑤	課題は多いようですが、笠原地域「オールかさはら」が、「かさはら福祉センター」を支えていく場合、本市も共に協力して頂けますか？
質問の相手方	福祉部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17番議員 氏名 林 美行

質問題名	少子化、人口減少問題への取り組みについて
質問要旨	地域社会においても少子化、人口減少は深刻な課題であると考えてるので、多治見市の少子化、人口減少対応政策の考え方、政策の方向について伺うもの。
質問項目①	少子化、人口減少がもたらす地域社会への影響をどのように考えて政策が考えられているのか。多治見市の持続可能性が失われるとの危機意識は。
質問項目②	新しい人口ビジョンは人口減少をどの程度まで緩和できると考えているのか。
質問項目③	出生率をどのようにして改善するのか。7次総でどのような改善が図られたのか。8次総では。
質問項目④	20代30代の人口減少はどうなのか。どのようにして社会移動が止まり、それが20代30代の転出を改善させているのか。
質問項目⑤	人口減少が加速する各校下での生活はどのようになるものと考えているのか。安心して暮らせるための対策はどのようにして立てることが出来るか。
質問項目⑥	行政の中で危機意識は共有されているのか。
質問の相手方	市長、企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17番議員 氏名 林 美行

質問題名	駅周辺整備のこれからの方向について
質問要旨	駅北土地区画整理事業、駅南再開発が完了した現在、どのような駅周辺を目指していくのかについて伺うもの。
質問項目①	プラティの見通しは。また、大きく見ての多治見市としての収支は。
質問項目②	駅北地区と駅南地区を結ぶ道路はいつできるのか。
質問項目③	これらの事業の結果、中心市街地は今後どのような方向性を持つのか。
質問項目④	魅力ある市街地が出来て、公共交通の持続可能性は高まっているのか。
質問項目⑤	そもそもにぎわいの生まれる施設や事業づくりが必要ではないか。
質問項目⑥	17区18区、19区、エリアへの展開は。15区、16区、12区への展開は。
質問の相手方	市長、都市計画部長、企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17番議員 氏名 林 美行

質問題名	希望のある多治見市 を実現するために
質問要旨	便利で住みやすい、安心して暮らせるまち、希望の生まれるまちにしてい くためには。美しいまちであることと、大胆な交通政策が必要ではないか。 定住人口、交流人口を増加させるための基礎となるものなので。
質問項目①	美しいまちにするためには、市民のみなさんの力をお借りすることが必要 ではないか。
質問項目②	LRTかBRTの導入が最善ではないか。一人当たりの歳出額は普通の自 治体並の金額ではあるが、都市基盤の再生に取り組まなければならないこ このまちは投資の方向を変えるべき。
質問項目③	市民病院、県病院への公共交通の充実を考えるべきではないか。
質問項目④	太多線の福祉センター前駅整備が必要ではないか。また、JR 駅の活用や近 隣都市との連携による対応が至急取り組むべき課題ではないか。
質問項目⑤	うながっぱバスの抜本的充実（予算の3倍増程度の）が必要ではないか、
質問項目⑥	市民アンケートなどの声を十分に受け止めておられるのだろうか。
質問の相手方	市長、都市計画部長、環境文化部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表 ・ 個人)

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会議長 様



会派名 自 民 ク ラ ブ

15番議員 氏 名 若尾 敏之

質問題名	自治会に対する取り組みについて
質問要旨	市内の自治会〔特に区・町内会〕の現状や問題点と併せて 今後の方針等をお聞きします。
質問項目①	自治会の現状と問題点
質問項目②	自治会からの相談などの窓口としての役割
質問項目③	市が求める自治会の姿とは
質問項目④	区・町内会の合併に対する市の考え方
質問項目⑤	町内会の区からの脱退に関する市の考え方
質問項目⑥	
質問の相手方	環境文化部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表 ・ 個人)

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会議長 様



会派名 自民クラブ

15番議員 氏名 若尾 敏之

質問題名	シニアへの優しい施策について
質問要旨	多治見に住んで良かったと思えるシニアへの施策について
質問項目①	ご長寿100歳のお祝いについて
質問項目②	後期高齢者(75歳)の2割負担について
質問項目③	健康を維持されている方に対する市の出来る施策について
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	福祉部長、市民健康部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表 ・ 個人)

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会議長 様



会派名 自 民 ク ラ ブ

15番議員 氏 名 若尾 敏之

質問題名	星ヶ台運動公園の駐車場問題について
質問要旨	今後予想される星ヶ台運動公園の駐車場問題に対する市の取り組みをお聞きします。
質問項目①	星ヶ台運動公園の駐車場に関する市の考え方について
質問項目②	星ヶ台運動公園の今後の駐車場利用計画について
質問項目③	圧倒的に不足すると思われる駐車場問題に対する市の考え方
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	環境文化部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和6年2月21日

多治見市議会 議長 様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	中学地域ジュニアクラブの現状と国県のガイドラインについて
質問要旨	<p>多治見市は平成14年度から中学生の部活について、先駆的に保護者を主体としたジュニアクラブ化を行ってきた。ここに来て、いよいよ国の方針として平日の部活動（日にもち、1日2時間以内、2日以上の休養日）、また、休日（半日以内）の部活動は完全に地域移行を目指すことになり、国県がR5～R7年度改革集中期間として移行のガイドラインを示している。</p> <p>岐阜県内の各市においてもその担当事務局を決め、移行のプログラムを示し、具体的な手法と支援の在り方についても明確にする自治体も増えている。そこで、当市のジュニアクラブの現状と支援の内容、国県のガイドラインに対する見解と多治見市の対応について、以下質問する</p>
質問項目①	<p>当市のジュニアクラブの現状と支援の内容はどのようなものであるか？</p> <p>また、課題としてどのような認識を持っているのか？</p> <p>学校内での部活の状況はどのようなか？</p>
質問項目②	<p>国県のガイドラインに対する市の見解はどのようなか？</p> <p>また、対応はどのようなか？</p>
質問項目③	<p>これまで当市ではジュニアクラブ化への担当事務はどの課が担ってきたのか？</p> <p>国、県のガイドラインが示されている現在、今後はどこが、事務局を担うのか？</p>
質問項目④	<p>他市では「部活動地域移行検討委員会」など実施しているが、実施済みと言わず、当市も改めて検証委員会を設け、今後の指針を示すべきと考えるが、いかがか？</p>
質問項目⑤	<p>ガイドラインでは自治体に対し指導者への研修を奨励しているが、県でも地域指導者育成研修会を実施し、公益財団法人岐阜県スポーツ協会から市町村を通しライセンスを発行をしているとのこと、当市での研修などの状況はどのようなか？</p>
質問項目⑥	<p>美濃加茂市は既にR5年4月補助要綱を策定。岐阜市もR5年度の具体的な支援と条件を明記しており、今後は国の支援の動向を見ていくともしている。</p> <p>多治見市としては、どう対応するのか？</p>
質問の相手方	市長、教育委員会、環境文化部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和6年2月21日

多治見市議会



会派名 市民ネットワーク

19 番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	本庁舎建設の進め方と基本的な姿勢について
質問要旨	<p>本庁舎建設については、ようやく基本構想が決定した。この事業については、初動が遅れた感があり、スピードと丁寧さが必要と考えているが、現在の進め方には、大きな疑問を感じている。</p> <p>また、建設にかかわる予算についての議論も全くなされていないまま、68.6 億の経費が8次総合計画で示されている事についても、その内容についての説明もあいまいなままである。</p> <p>この4月には議会主催の市民の声を聴く会が予定されているが、このままでは、市民に説明ができないし、市民の声や議会の意見もどれだけ反映されるのか疑問である。建設に向けての執行部の進め方や内容について質問を行う。</p>
質問項目①	昨年11月1日に新庁舎建設の基本計画策定業務委託のプロポーザルの公募型プロポーザル実施要領が公告された。この基本計画は庁舎建設においてどのような役割と庁舎の具体的中身を規定することになるのか？
質問項目②	基本計画や基本設計について、予算の枠も考慮せず夢のようなものを作りがちであると考える。8次総の試算表では約68・6億円(駐車場等除く)、試算根拠を77.1万円/1㎡、その根拠はどのようなものなのか？
質問項目③	庁舎の規模については、基本構想に付随して8010㎡としており、その根拠が示されていた。また、先日の特別委員会協議会では、別の基準が示されたが、そのどちらの算定方法にも疑問がある。市職員の全体人数705人から、586人になったり1人当たり執務面積が21㎡から24㎡になったり矛盾している。実際現本庁舎での職員は305人(会計年度職員含む)であり、仮に320人の執務室等として何が必要なのか具体的に上げる方が説得力があると思うがいかがか？
質問項目④	基本設計と実施設計と工事の発注について、どのような方式で行うと考えているのか？建設費用について、新市民病院建設時のように、あらかじめ限度額を示すべきと考えるはいかがか？建設費用圧縮についてどのように考えているのか？
質問項目⑤	新本庁舎での議会フロアの有り方について、議会特別委員会第21委員会のメンバーが他市の新庁舎を視察され、その資料をまとめたものをいただいたが、いずれも当初計画の庁舎規模より縮小努力した事が記載されていた。当市担当課は予算規模縮小への努力を行う考えはあるのか？
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、総務部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会議長



会派名 公明党

13番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	市民と共同の子育て支援について
質問要旨	多治見市子どもの権利条例は子どもを含む市民参加のもと多治見の子どもが一人の人間として尊重され、「安心して」「自分らしく」生きていくことができるようにという願いを込めて作られました。多様化する社会にあって孤立、孤独にさせない、地域で社会で見守り支えることが、今ほど求められている時はないと感じます。子どもにとって、親以外の大人と接することは、社会への接点であり、多くの学びや気づき、優しさに触れる機会となり生きる力に繋がっていることを実感します。市、行政職員には子育て支援に取り組む市民・地域と共同で取り組むとの姿勢で支援して頂きたい。
質問項目①	本市においては多くの子ども食堂が運営されている。その形態は実に様々である。活動に対する支援補助金の交付をしているがその概要と利用実績を伺う。
質問項目②	公共施設を会場利用する場合の利用要件はどのようなか。
質問項目③	不登校児童・生徒の中小企業での職業体験を視察させて頂いた。「働く事を前向きに感じて貰い大人になったら楽しいことが沢山あるよと伝えられたら」との社長の思いから実現された。物づくりの楽しさや、反復作業の大切さを体感する貴重な体験であった。こうした地元中小企業での体験授業を是非継続して行って頂きたいがいかがか。
質問項目④	・新型コロナウイルスが5類移行になり感染症対策が緩んだ事もあり、インフルエンザの患者数が増加している。市内小中学校の状況はどのようなか。 ・東農4市では助成額は異なるが1歳から15歳まで助成している。インフルエンザ予防接種費用の助成年齢の引き上げを提案する。
質問項目⑤	子ども未来戦略「加速化プラン」の施策にある子ども誰でも通園制度の実施や4・5歳児の保育士配置改善が打ち出される中、保育士の確保は益々重要になる。現在勤務中の保育士の確保は必須である。現在の状況はどのようなか、今後の対策を伺う。
質問の相手方	市長 福祉部長 教育長 市民健康部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6年 2月 22日

多治見市議会



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	認知症基本法施行にあたり本市の認知症施策を問う
質問要旨	<p>国では、2025年には高齢者(65歳以上)5人に一人が認知症になると推計し40代、50代の働き盛りでも発症し、いつ誰が認知症になっても当事者や家族が安心して暮らせる環境づくりが課題であり、私たちにとって益々身近なものになっています。</p> <p>そして2024年1月1日に、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。基本法の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができる社会の構築です。多治見市福祉基本条例の前文に「私たち多治見市民は人としての尊厳を持って家庭や地域の中で子どもから高齢者まで女性も男性も、障がいの有無に関わらず、いつまでも安心して幸せに暮らし続けられるよう福祉まちづくりを進めます。」とあり想いの共有をして進めていけるものと確信します。</p> <p>そこで本市の認知症施策について、これまでに質問提案して来たことも含めて伺う。</p>
質問項目①	<ul style="list-style-type: none"> 基本法施行にあたり市として啓発イベントを開催し、広く市民に警鐘と早期の取り組みによる改善の周知を図ってはどうか。 努力義務となっている推進計画の策定はされるか。
質問項目②	本市における認知症への正しい理解と見守り支援の要である認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の現状と今後の推進と課題。
質問項目③	<ul style="list-style-type: none"> 地域別高齢者数を鑑みたサポーターの養成者数の目標をもって取り組んではどうか。 地域での展開支援の取り組み(予防講座の運営やカフェの運営など)。地域社協の有無など地域での状況を鑑みた展開による経費の補助の仕組みを考えてはどうか。(一過性で終わらせない)
質問項目④	<ul style="list-style-type: none"> 本市小中学校の児童・生徒へのサポーター養成講座を実施されている。東京八王子市 立緑が丘小学校の講座は認知症当事者と子ども達が協力して取り組む「駄菓子屋体験」をプログラムに取り入れている。講義による座学だけでは支援する側との認識に立ってしまう。認知症の方と直接触れ合うことで当事者目線にたった共に地域で暮らす体感を得られる。多治見市版の養成講座の推進を考えたらどうか。 御嵩町勇者の証キッズサポーター養成講座は、長期休日を使った講座の開催をしている。オレンジリングの他にオレンジロボのストラップの作成を行い気軽に身に付けるグッズでの啓発をおこなっている。親子参加も

	含めて、本市での長期休暇での養成講座の実施をしてはどうか。
質問項目⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れ健診事業（認知症健診事業）50歳以上の方対象の推進をおこなってはどうか。早期診断、軽度認知症（MCI）の段階での予防行動の推進をするために。 ・MCIの段階からの予防が大切である。根本地域での大学と連携した取り組みや事業での効果の分かる予防教室の更なる推進を各地域で実施できるような仕組みづくりの強化が必要だが認識を伺う。 ・簡易セルフチェック「これって認知症」の利用状況はいかほどか。
質問項目⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の事故等を未然に防ぐ為、運転免許証返納の推進は必須である。市内在住者の事故はいかほどか。返納に当たり代替え交通手段の確保は重要である。認知症高齢者が増加することは予想できている。安心して返納が出来る環境づくりに今後の対策をどのように考えているか ・認知症高齢者の事故賠償保険事業の導入を再度提案するがいかがか
質問項目⑦	高齢に伴い難聴者の増加が予想される。窓口に老眼鏡がおかれているように難聴者に軟骨電動イヤホンの設置を提案するがいかがか。
質問の相手方	福祉部長 都市計画部長 市民健康部長

市政一般質問発言通告書 (個人)

令和 6年 2月 22日

多治見市議会



会派名 自民クラブ

10番議員 氏名 城 處 裕 二

<p>質問題名</p>	<p>持続可能な住民自治と行政サービスとは</p>
<p>質問要旨</p>	<p>地域のつながりの希薄化が危ぶまれて久しい中、第8次総合計画では地域に踏み込んだ施策、基本計画事業が挙げられました。また近年取り組んでいる地域力に関して、この度地域力向上事業の全庁的な取組体制の強化が報告されました。これらの動きの背景、目的を確認すると共に住民自治の現状と今後について意見交換出来たらと考えます。</p>
<p>質問項目①</p>	<p>自治会の現状について、最近の自治会加入率と動向について教えてください。</p>
<p>質問項目②</p>	<p>自治会加入率がこのまま下がり続けた場合の行政運営に与える影響をどのように捉えておられますか。</p>
<p>質問項目③</p>	<p>今回の取組体制強化の背景と目的、内容を教えてください。</p>
<p>質問項目④</p>	<p>自治会と行政の有効な関係性についてどのように考えておられますか。</p>
<p>質問の相手方</p>	<p>市長・企画部長・環境文化部長</p>

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6年 2月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ
 20番議員 氏名 石田 浩司

質問題名	令和6年度の予算について
質問要旨	昨年9月議会において会派代表質問を行ったがどのように ^映 反されているか聞く。
質問項目①	給食費無償化について 第8次総計掲載済 令和6年度のいつの時点で無償化の方針が出されるのか?
質問項目②	保育料無償化について システム導入予算化済 子育て世代に対する周知の方法と定住の効果は?
質問項目③	18歳医療費無償化について システム導入予算済 子育て世代に対する周知の方法と定住の効果は?
質問項目④	職員定数の見直し 過不足なくという答弁 (9月議会答弁) 定員適正化計画のスケジュールと各課へのヒアリングは?
質問項目⑤	地域移動手段確保 あいのりタクシーの補助率見直しは行わない。(答弁) 地域高齢者の移動手段について検証と検討は?
質問項目⑥	地域要望への予算増額 道路維持・河川管理・公園整備、有害鳥獣対策など地域要望への反映は?
質問の相手方	市長,教育委員会,福祉部長,市民健康部長,企画部長,都市計画部長,建設部長,経済部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6年 2月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	ネットワーク型コンパクトシティにおける居住誘導地域への支援について
質問要旨	ネットワーク型コンパクトシティを進める多治見市。昨年の11月号タジミストにも取り上げられました。人口減少を防ぎ、定住を促進するため居住誘導地域の整備や誘導施策が必要になると考え質問します。
質問項目①	◎ネットワーク型コンパクトシティの効果について 市として効果をどのようにとらえているのか？ネットワークの構築とは
質問項目②	◎居住誘導地域への支援は 住環境整備における道路補修や側溝整備を進めることは必要では？
質問項目③	◎居住誘導地域への移住者の為、家のリフォームや解体補助を今以上に支援をするべきではないか？
質問項目④	◎市営住宅・県営住宅などの廃止などで地域が衰退している。(北陵校区) 地域が活性化する為の施策として市としてどのように考えているのか？
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長, 都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和6年 2月 21日

会派名 日本共産党
16番議員 氏名 三輪寿子

質問題名	学校給食を無料で子どもたちへ！
質問要旨	<p>●2024年度予算案が発表され、地方財政対策費・当初予算の一般財源総額が増額された。この予算と基金の活用で、自治体独自の子育て支援を早期実施できるようにして頂きたい。</p> <p>●なぜ学校給食の無償化が必要なのか？憲法26条・子どもの権利条約・学校教育法第4条・学校給食法11条2項について提案したい。</p>
質問項目①	学校給食の現状・・・子ども1人にかかる（年間学校教育費・学校給食費・それぞれ、小中学校の金額・総額）はどれ程か？
質問項目②	物価高騰に伴う子どもたちの食事の変化についてどのように捉えているか？又、当市の実態はどうか？
質問項目③	公教育の無償性とは何か？憲法26条「義務教育の無償規定」・子どもの権利条約「教育を受ける権利保障のための生存権」についてのどのように考えているか？
質問項目④	学校教育法第4条「設置者負担原則」 学校給食法11条2項「学校給食費を公費負担する事は妨げていない。」 についてどう捉えているか？
質問項目⑤	給食費の公会計化についてどう考えているか？
質問項目⑥	無償化した場合の総額いくらか？一般財源総額のどれ程を占めるか？
質問の相手方	市長・教育長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・**個人**)

多治見市議会



令和 6年 2月 22日

会派名 新生自民

3番議員 氏名 葉狩 拓也

質問題名	少子化対策 ～婚活・結婚支援について～
質問要旨	<p>日本の合計特殊出生率は年々下がり続け 2022 年過去最低の 1.26 迄落ち込んだ。さらにコロナの影響もあるのか、2023 年の値は 1.20 前後になる見通しである。少子化はさらに拍車がかかり、子供の数は年々減少している。さらには日本の生涯未婚率は 2023 年のデータで男性が 28.25%、女性が 17.85%と近年大幅に増加している。ただ実は社人研の出生動向基本調査によれば、夫婦が実際に持つつもりの子供の数は 2.01 とわずかな減少もしくは横ばいの状態が続いている。このデータを見ると、結婚をすれば子供を持ちたいと考えている人たちが多くいることが読み取れる。</p> <p>近年は国においても少子化対策として、こども家庭庁を中心に婚活・結婚支援の拡充を行っている。ですので、今回は少子化対策の有効な手段として本市における婚活・結婚支援について質問する。</p>
質問項目①	本市の婚姻数、生涯未婚率の推移はどのように変化しているか。 また、この数字をどのように捉えているのか。
質問項目②	本市において、これまでどのような婚活支援が行われてきたのか。またその成果はどれほどか。
質問項目③	本市が今後実施していく婚活・結婚支援施策、事業はどのようなものがあるのか。
質問項目④	時代の変化とともに、新たな取り組みや、他自治体の先進事例や成功事例を取り入れ、積極的にチャレンジしていくべきだと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。
質問の相手方	環境文化部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 6年 2月22日

多治見市議会



会派名

自民クラブ

9番議員

玉置 真一

質問題名	『地域公共交通のあり方』について 続編
質問要旨	地域公共交通の現状と課題、市民全体のニーズを捉え慎重に、迅速に進めることが大切である。 こうした観点から令和5年第5回(12月)議会一般質問を行った。 その後の取り組みについて再度質問する。
質問項目①	昨年実施された市民アンケートの解析結果は。
質問項目②	各交通事業者への個別ヒアリングについて。
質問項目③	多治見市地域公共交通会議及び路線バスなど市内公共交通全般の見直しについて。
質問項目④	当初予算 地域公共交通対策関係費について。
質問の相手方	市長・都市計画部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 公明党

8 番議員 氏名 片山 竜美

質問題名	「第8次総合計画」における3つの教育施策の実行計画について問う！ ～「スクールロイヤー」「英語教育」「不登校支援」
質問要旨	<p>「第8次総合計画」基本構想と基本計画が昨年12月議会で可決し、いよいよ具体的実行の段階に入った。そこで、実行計画の作成にあたり、私がこれまで、決算特別委員会や第8次総合計画特別委員会などで、特に注視して質問や提案してきた次の3つの教育施策について、実現に向けて今一度考察していただきたいという思いで質問する。</p> <p>① 政策の柱1・施策6・(2)スクールロイヤーにより学校 〃の相談支援を行います</p> <p>② 政策の柱1・施策5・(6)小中学校の英語教育を充実させます</p> <p>③ 政策の柱1・施策5・(8)いじめ・不登校の未然防止と対応の強化をすすめます</p>
質問項目①	<p>「スクールロイヤーの導入」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この制度を導入した経緯について ・相談方法と相談内容はどのようなか ・1年間に何件の相談がくると想定しているか
質問項目②	<p>「小中学校の英語教育の充実」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7次総合計画における英語教育を充実した成果は何か ・7次総合計画時の実行計画とはどんな違いがあるか ・今後、充実を図ることで、多治見市の子どもたちのどんな姿を目指すか。
質問項目③	<p>「不登校支援とその居場所作り」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度予算案に「不登校児童生徒適応指導関係費」として校内教育支援室充実のための予算が組まれたが、具体的にはどのようなことをするか。 ・この施策以外に、7次総合計画時の実行計画との違いがあるか ・さわらび学級の「学校復帰を目的」を今後変更することや場所の移転についてどのように考えているか。
質問項目④	
質問の相手方	教育委員会

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 2 月 22 日

多治見市議会



会派名 公明党
8 番議員氏名 片山 竜美

質問題名	学校施設の老朽化対策と防災機能強化の推進を！
質問要旨	<p>昨年 4 月 26 日に福岡県北九州市、10 月 17 日には埼玉県久喜市において、学校施設の老朽化に起因する外壁の落下事故が発生した。いずれの学校の校舎も築 40 年以上が経過していて老朽化が進んでいる。</p> <p>一方で、甚大な被害をもたらした能登半島地震においては、多くの学校施設がこれまで耐震化により、1校も倒壊することなく、地域住民の命を守るための避難所となった。</p> <p>今後、多治見市でも避難所としている学校施設の外壁落下防止や体育館のエアコンの設置など、学校施設の老朽化対策・防災機能強化は早期に対処しなければならない重要な課題である。</p> <p>そこで、以下の質問をする。</p>
質問項目①	市内の学校施設の築年数や建築基準法第 12 条に基づく調査・点検の状況はどのようになっているか。
質問項目②	文科省として継続している「防災・減災、国土強靱化のための 5 か年計画加速化対策」で、令和 7 年までの学校施設の老朽化対策や防災機能強化のための修繕や改修の計画はどのようになっているか。
質問項目③	「国土強靱化基本法」を改正し、今後の方針となる「国土強靱化実施中間計画」を法定化したことを受け、令和 7 年以降も学校施設の外壁落下対策を含めた老朽化対策を進めるべきと考えるがいかがか。
質問項目④	災害時の避難所として活用される学校施設の体育館へのエアコンの設置やトイレの洋式化がこれから必要と考えるが、いかがか。
質問項目⑤	災害時に停電時の対策として、自家発電等バックアップ電源の整備が必要と考えるが、いかがか。
質問項目⑥	
質問の相手方	教育委員会 企画部